

発展を目指す企業家のための経営指南役

No. 568

平成22年 6月 7日(月曜日)

社 外 重 役

Selected Clients & Professionals Relationship

発行)株式会社ノースアイランド
 東京本社)東京都千代田区丸の内3-2-3 富士ビル5F
 Tel.03-3216-2004 Fax.03-3216-0439
 大阪支社)大阪府北区中之島3-3-23 中之島ダイビル9F
 Tel.06-6448-2004 Fax.06-6448-0539

人 事

「早期離職」で悩む企業34%
中小は離職防止にアイデア絞る

多くの人は毎年「どの企業が新入社員を何人採用したか」に注目する。一方で、どこの企業も「早期離職」(3年以内)には有効な手立てがなく、入・離職率のバランスシートには神経を使っている。各種統計などによると、早期離職で悩む企業は全体の34.0%にのぼる。

産業全体の離職率を見ると、08年は景気後退で悪化し約16%。これを業種別に見ると飲食・宿泊、医療・福祉、建設で17~26%と目立つ。中でもベンチャー企業など業種が特定しにくい「その他サービス業」は21.8%と突出している。規模別では社員1,000人以上で16.8%、30~99人で17.6%と小企業ほど定着率が悪いことがわかる。09~10年はさらに悪化しただろう。

もっともベンチャー企業には女性社員の比率が高い業種が多く、育児と仕事の両立できる体制作りが今、急務となっている。結婚式場・ホテル運営のN社(東京都)は社員数700人中、女性が6割、離職率は21%だが目標は10%台に下げること。

そこで目下取り組んでいるのはモラールアップ策。再雇用制、フレックスタイム、社内FAと一通りあるが、ユニークなのは**アイデア休暇制度**。これは業務に関係なく面白いアイデアなら1日の特別休暇が取れるというもの。これには社内が盛り上がった。N社は「遊び心」で社員のコミュニケーションを盛り上げ、自主性や創造力を磨いてもらおうという目標に向かう一体感を作りだし、目下、出足は上々という。

税務会計

2009年分所得税の納税額は14%減
2兆2,725億円でピークの3分の1

国税庁がこのほど発表した2009年分所得税等の確定申告状況によると、所得税の確定申告書を提出した人は、過去最高だった前年を0.1%下回る2,367万4千人となり、1998年分以来11年ぶりに減少した。

所得税の申告納税額は、前年を14.2%下回る2兆2,725億円と、5年ぶりに減少した前年に引き続き減少した。景気低迷に伴う地価や株価の下落で譲渡所得が落ち込み、納税人員が減少したことが要因とみられる。

確定申告書提出者のうち申告納税額がある人は、前年比4.6%減の717万6千人、その所得金額も10.6%減の35兆3,865億円となり、それぞれ4年連続、3年連続で減少した。14.2%減で2兆2,725億円となった申告納税額は、ピークの1990年分(6兆6,023億円)の約3分の1にあたる。なお、還付申告者数は、前年を1.2%上回る1,299万3千人となり、5年連続で過去最高を更新、申告者全体の約55%を占めた。

所得税申告者のうち、株式等譲渡所得の申告者は7.7%増の96万4千人、うち所得金額がある人が32.7%増の24万3千人、所得金額は11.5%減の1兆1,527億円だった。

これらの株式等譲渡所得の申告者を除く土地等の譲渡申告者は14.1%減の39万5千人、うち所得金額がある人は18.0%減の20万5千人、所得金額は33.8%減の2兆1,312億円と、株式等譲渡所得とともに大幅に減少しており、申告納税額減少の要因の一つとなった。

今週のキーワード

アイデア休暇
制度

独自の企業文化を育てる試みとして、「遊び心」で社員全員が参加でき、一体感を醸成する目的で始めた制度。内容は、面白い口実を見つけて申請すると休みが1日もらえる。口実とはいつでも奇抜な面白さが条件。つまりは創造力や自主的な発想力が試され、結果として結婚式という仕事を自らも楽しもうという相乗効果も狙う。第1号の口実は「F1レースにドライバーとして参戦、優勝する」という25歳の女性社員。N社は5月、iPadを全8店舗で販促に使うと発表した。